

令和4年度
事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和4年度事業報告書の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成なし。

令和5年5月25日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和4年度事業報告書

1 県臓器移植コーディネーター業務

臓器移植及びアイバンク事業について、円滑な実施並びに関係機関との連携強化を図るため、福島県より臓器移植コーディネーター設置業務を受託し、事務局に県臓器移植コーディネーターを2名設置し、以下の事業を実施した。

(1) 臓器提供発生時の対応

- ・臓器提供件数：0件
- ・臓器提供情報対応件数：4件
(家族の意向により説明に至らなかった件数：1件、医療機関からの情報提供のみ：3件)
- ・角膜提供件数：0件
- ・近隣県での臓器提供症例へのコーディネーター派遣：1件（茨城県）

(2) 脳死下臓器提供可能な5類型施設、院内コーディネーターの設置された施設への訪問

- ・福島赤十字病院
- ・南相馬市立総合病院
- ・会津中央病院
- ・竹田総合病院

(3) コーディネーターの資質向上や情報交換を目的とした学会や研修会等への参加

- ・公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催
全国都道府県コーディネーター連絡会議
(令和4年7月7日 WEB、令和5年2月28日現地)
北海道・東北臓器移植コーディネーター会議 (WEB)
(令和4年6月24日、令和5年1月20日)
- ・公益社団法人日本臓器移植ネットワーク あっせん業務現地研修 (3回)
他県の提供症例への対応に参加した
茨城県：9月28日及び10月1日～3日
岐阜県：10月24日～10月25日 ※症例としては不成立
東京都：11月23日
- ・福島県立医科大学附属病院移植医療部勉強会 (4回)
- ・福島県立医科大学附属病院移植医療部主催 市民公開講座 (8月28日)
- ・都道府県臓器移植推進組織協議会総会 (12月26日) 欠席
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 東北ブロック会議 (2月16日)
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 全国連絡協議会 (2月17日) 欠席

2 臓器移植及びアイバンク事業の普及啓発活動の推進

(1) ポスター、リーフレット等による普及啓発

- ・関係団体等にリーフレット、ポスター配布および掲示依頼
59市町村、県内道の駅35駅、福島県運転免許センター（福島、郡山）、県内37カ所の自動車

教習所、福島運転免許センター内関連機関、医療機関

- ・若い世代の意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器提供意思表示説明用リーフレットを市町村へ発送
- ・県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付
- ・福島市内の地下道掲示板にポスターを常設掲示
- ・福島県庁県民ホール等へポスター、リーフレットの掲示（2月、3月）

(2) イベント等での普及啓発活動

- ・福島県庁内献血会で、普及啓発ブースを設置しアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけを行った。（県庁玄関ホール 4月6日、4月11日、9月5日、1月16日）
- ・福島県立医科大学附属病院移植医療部主催の市民公開講座に共催として参加した
(8月28日)
- ・第38回目の愛護デー講演会開催（二本松市）（10月1日）

(3) 他団体等広報支援による普及啓発

- ・福島県地域医療課協力による県政番組出演
KFB「チャレンジふくしまナビ」（9月9日）
ふくしまFM「キビタンスマイル」（2月1日、3月23日）
- ・町村会機関紙「ふくしま自治」掲載（第725号、第726号、第727号）

(4) グリーンライトアップ

- ・10月の臓器移植普及推進月間、10月16日のグリーンリボンデーに合わせたライトアップ実施
(11施設16か所)

(5) デジタルサイネージ

- ・郡山駅前アティビジョンにて臓器提供意思表示普及啓発動画放映（12月11日～17日）

(6) 出前講座

- ・ピュアスポーツ南スイミング（1月11日）

(7) ホームページ運用

- ・随時ホームページを更新し活動について周知

(8) SNS アカウント開設

- ・Facebook、Instagram、Twitter の開設

3 アイバンク事業（令和5年3月31日現在）

(1) 眼球提供登録申込書の受付と眼球提供登録カードの交付

- ・眼球提供登録申込者 5名

(2) 眼球摘出、あっせんの実施

- ・眼球提供者 1名（前年度 3名、5眼）
- ・角膜提供情報対応：5件

(家族の意向により承諾に至らなかった件数：2件、医療機関以外からの連絡のため提供に至らなかった件数：2件)

- ・角膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 4眼）

- ・強膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 0眼）
 - ・角膜あっせん要請 0眼（前年度 あっせん要請 0眼）
- (3) 移植角膜用スペキュラーマイクロスコープ購入にむけた活動
クラウドファンディングの実施（令和5年1月20日～3月20日）

4 腎移植希望者に対する助成（上限15,000円）

- ・5名

※福島県の腎移植希望登録者数168名

（参考：日本臓器移植ネットワーク HP、令和4年12月31日現在）

5 院内コーディネーター研修会の開催

第36回院内コーディネーター研修会（令和4年10月30日 WEB）参加者17名

「院内体制整備における院内コーディネーターの役割と実際～院内体制整備を経験した立場から～」

（公財）北海道移植医療財団 北海道臓器移植コーディネーター 高橋 美香 先生

「院内における他職種連携の働きかけと調整」

浜松医療センター 看護師兼院内臓器移植コーディネーター 遠藤 祐子 先生

第37回院内コーディネーター研修会（令和5年2月10日 WEB）参加者22名

「臓器提供の現状と臓器提供に向けて」

福島県臓器移植コーディネーター 舟山 久美

パネルディスカッション「臓器提供を経験した施設の取り組み」

座長：福島県立医科大学附属病院 小児外科教授 田中 秀明 先生

パネリスト：（一財）竹田健康財団 竹田総合病院

生江 昭一氏、遠藤 力氏、八鍬 容子氏、江花 翔太氏

6 感謝状贈呈事業

贈呈者 0名

7 地域連携促進活動

県民に移植医療に関する意識と理解を高め、臓器提供意思表示をしてもらえるよう、財団、行政、医療機関、関連する団体との連携を図った。

- ・福島県立医科大学附属病院の院内勉強会、シミュレーション参加
- ・福島県警本部 捜査第一課検視官及び地域企画課を訪問し臓器提供が発生した場合の対応についての協力を依頼。
- ・医療従事者用「臓器提供ミニ知識」心停止後 Ver ポケットマニュアルを作成し配布した。

8 寄附金等募集活動（令和5年3月31日現在）

- ・福島県眼科医会様 30万円
- ・ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区様 30万円

- ・ときわ会常磐病院様（寄附型自販機設置による寄附） 2台 138,531円
 - ・福島県立医科大学駅前キャンパス様（寄附型自販機設置による寄附） 6,547円
 - ・賛助会員数 1団体（広野町） 10,000円
 - ・一般寄付 51,769円
- 内訳：1,760円（220円×8人）、一般社団法人相馬郡医師会(3月23日) 50,000円

9 役員会等の開催

(1) 理事会

第20回理事会（6月7日）WEB開催

令和3年度事業報告及び収支決算を承認した。

第10回定時評議員会の開催について承認した。

臨時理事会（6月28日）WEB開催

理事長、副理事長の選定を行った。

第21回理事会(3月17日)

令和5年度事業計画書及び収支予算書を承認した。

(2) 監事会

第9回監事会（5月26、30日）※COVID-19感染症対策のため事務局員が各監事を訪問

令和3年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた。

(3) 評議員会

第10回評議員会（6月28日）みなし決議

令和3年度事業報告をした。

令和3年度収支決算が承認された。

役員の選任について承認された。

評議員の選任について承認された。

(4) 意見交換会（10月25日）WEB開催

財団役員および評議員が、移植医療の現状や近隣県の情報等を共有し、今後の財団運営について話し合いを行った。